

◇情報化の推進について

▼町長説明概要

携帯電話、ブロードバンドはこの地域でも利用したいという要望があります。光ファイバーについては、一部サービス利用が可能となっておりますが、加入者が増えないとエリアが広がらないため、多くの人たちに加入してもらい利用拡大を図っていきたいと考えます。携帯電話については、中継局が新たに矢大臣山に設置され利用可能範囲が大幅に広がる予定です。地上波デジタル放送は、現在矢大臣山にアンテナが設置され放送が始まっています。共同アンテナ受信世帯では施設の改修が必要のため、設置した事業者と協議することになります。これらは地域活性化のために必要不可欠ですので、皆様の協力を得ながら進めていきたいと考えます。

◇定住促進政策について

▼町長説明概要

マスメディアにも取り上げられました、町有林おすそわけ事業は移住者向けのものとして、積極的に定住施策を進めたいと考えています。町民のみなさんにも積極的なPRをお願いします。バラ色の話ばかりではありませんが、多くの情報を発信しながら、町民の方々と目線を同じくして努力していきます。



東京でのPR活動

◇道路・河川行政について

Q 農道や町道の補修

A 町道の管理は町が行いますが、農道については受益者負担の原則があります。町道管理は地域整備課、農道については産業振興課が所管になっているので区長・集落農政推進協議会長を通してご相談ください。

Q 百目木堀切線の進捗

A 地方交付税の削減もあり現在のペースで進んでいくのが精一杯です。今後早期完成について努力していきます。

Q 右支夏井川の改修工事

A 国と県の予算を合わせて事業を進めることになってい

ますが、国県とも財政的に厳しいため、なかなか進捗していません。少しでも多くの予算を確保し、工事が進められるよう国、県に要請していきたいと考えます。

◇観光行政について

Q 公共機関や史跡の案内板

A 案内板については、どのような規模の看板が必要なのか総合的に検討しています。今後順次整備を行っていきます。

◇農業施策について

Q 農業支援については？

A 町としては、最善を尽くします。利益があがる作物が必要ですが、農業の方々自身も考えてもらい、どのような作物が良いのか、販路はどうするのか相談していく必要があります。

また、直売所の支援などを通じて、農業所得の向上と地産地消の推進をはかっています。

◇行財政改革について

Q 役場の建て替え構想は？

A まずは教育施設等の整備を優先したいと考えます。我慢するところは我慢し、優先順位をつけて取り組んでいきたいと考えます。

Q 職員削減と住民サービスについては？

A 小野町でも平成16年度から笑顔とがんばり行革大綱を定めて、最終的には100名体制を目標として職員の削減をしています。また、庁舎清掃の職員対応や駐車場の有料化など経費の削減にも努めています。

Q 職員人件費と勤務態度

A 予算については、毎年地方交付税が減らされているため厳しい状況で、行革大綱により削減を進めています。職員の勤務対応については、町民サービスの向上をめざして職員の指導を徹底します。

Q 議会の定数削減が必要では？

A 議会の定数については、議会の中で論議することになっています。前回の選挙時に議員定数を削減していますが、現時点では削減の話は聞いておりません。なお議会でも費用弁償を廃止し経費を節約しようとしています。

Q 投票所の統合

A 投票所は近ければ近いほど良いと思いますが、期日前投票や車で行く方が便利な場合もあり、統合による影響はまだはっきりしていません。何度か選挙を行った後、都合があれば選挙管理委員会にご意見をお願いします。